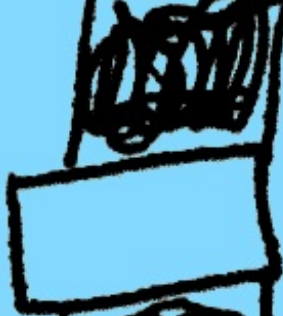


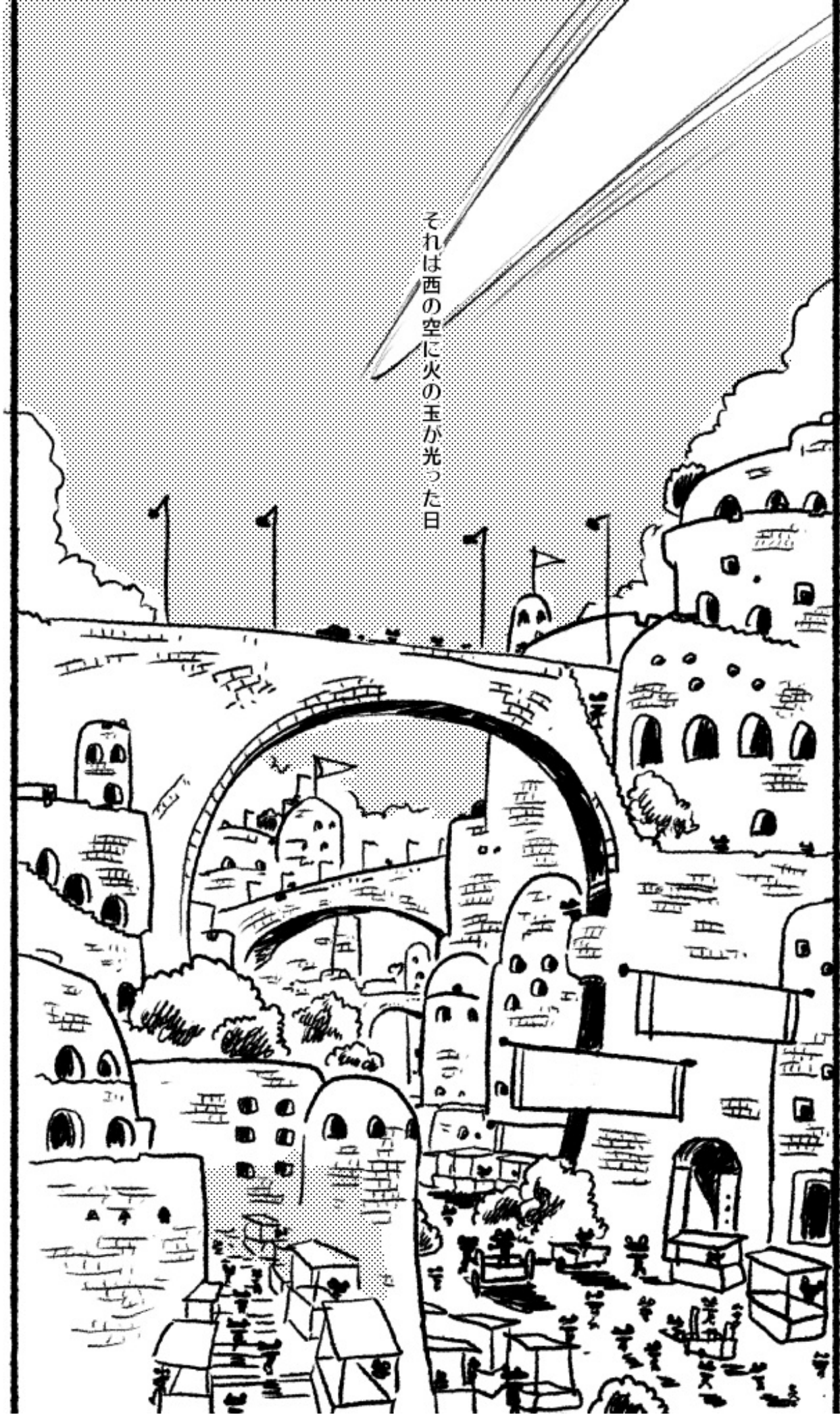
1

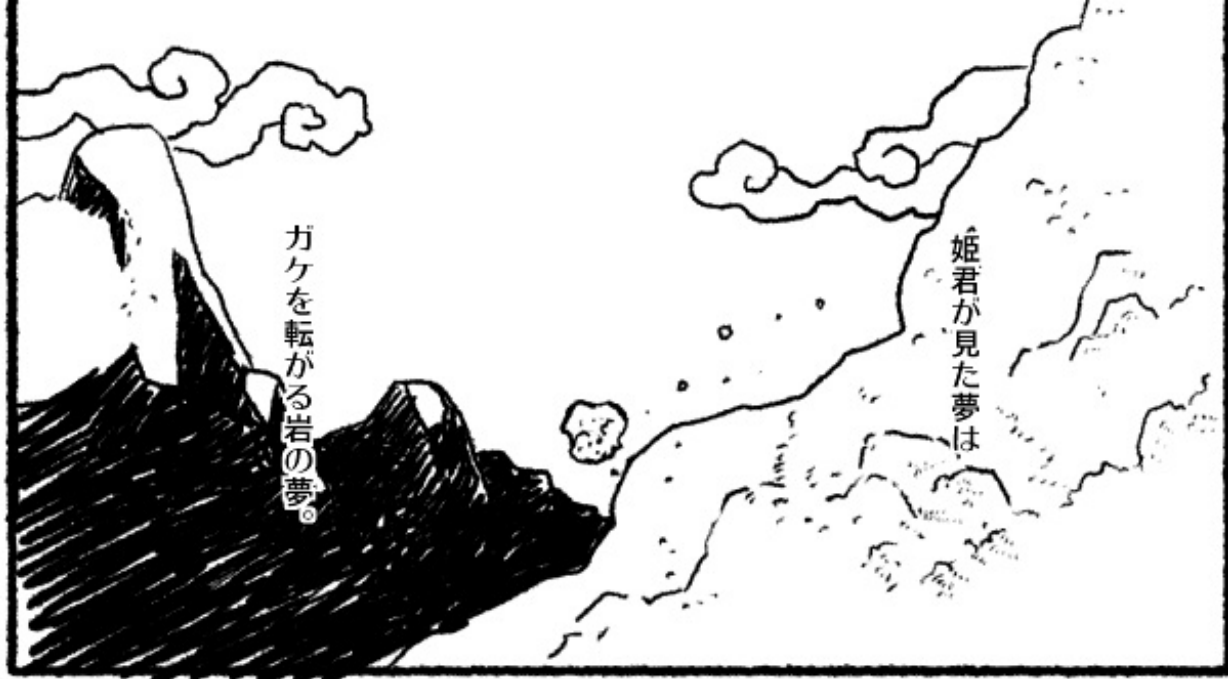


青木

俊直

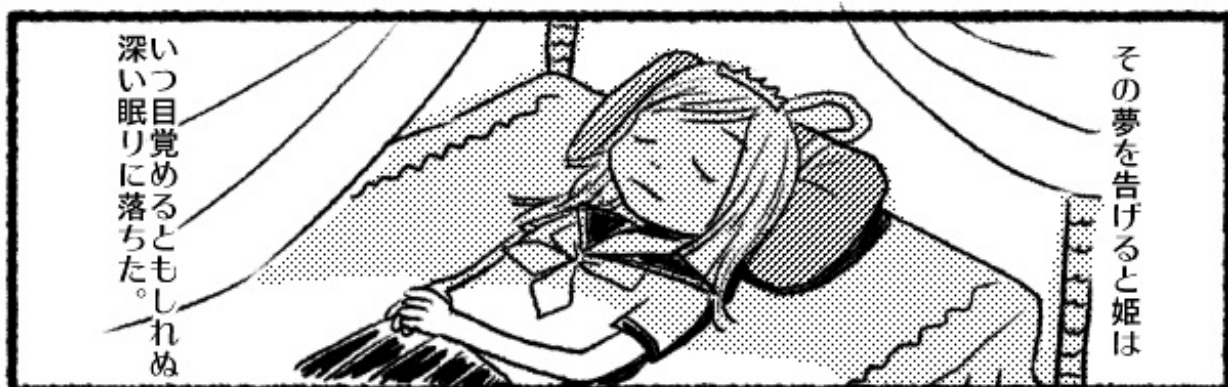
それは西の空に火の玉が光った日





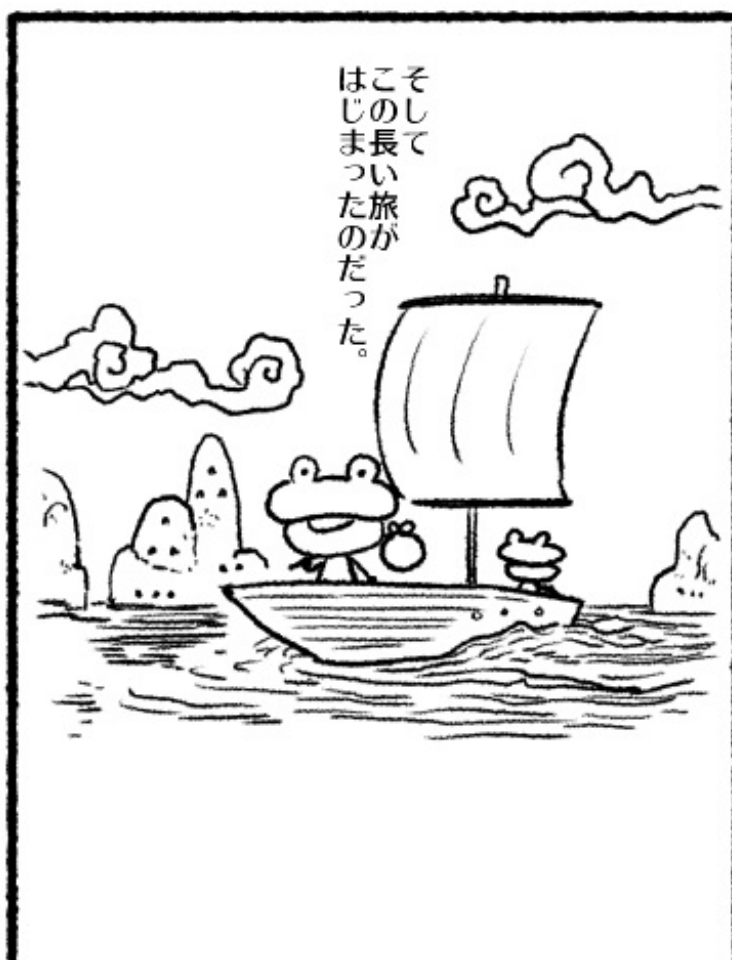
ガケを転がる岩の夢。

姫君が見た夢は

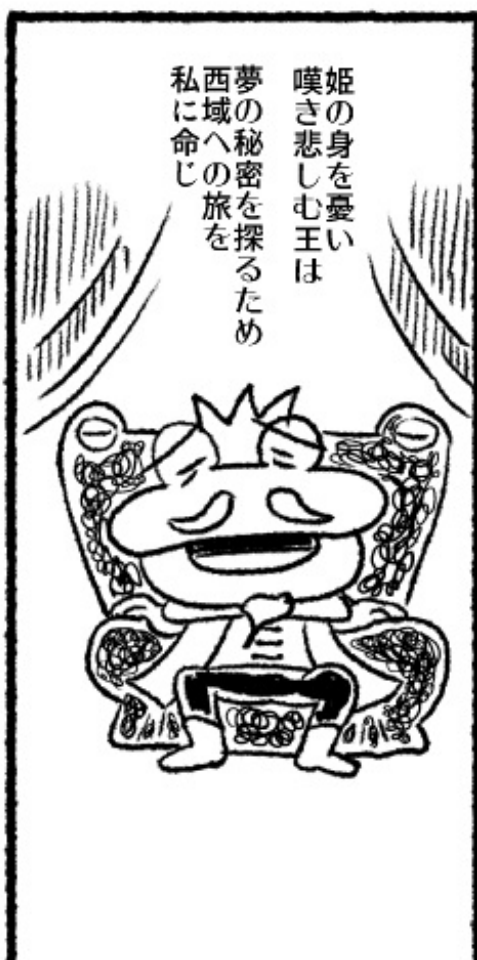


その夢を告げると姫は

いつ目覚めるともしれぬ
深い眠りに落ちた。

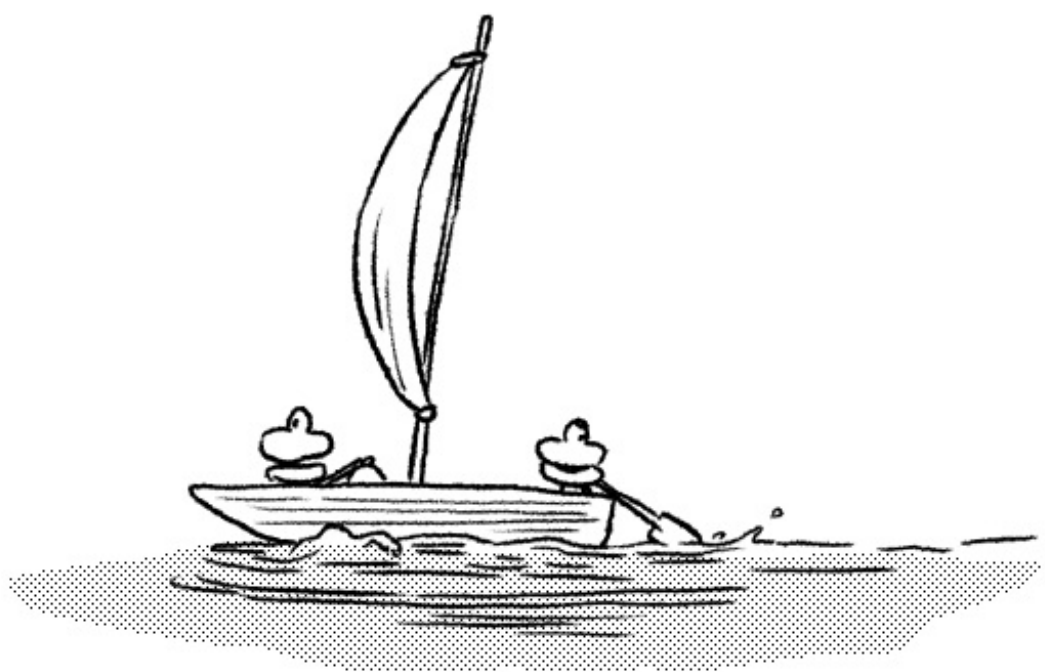


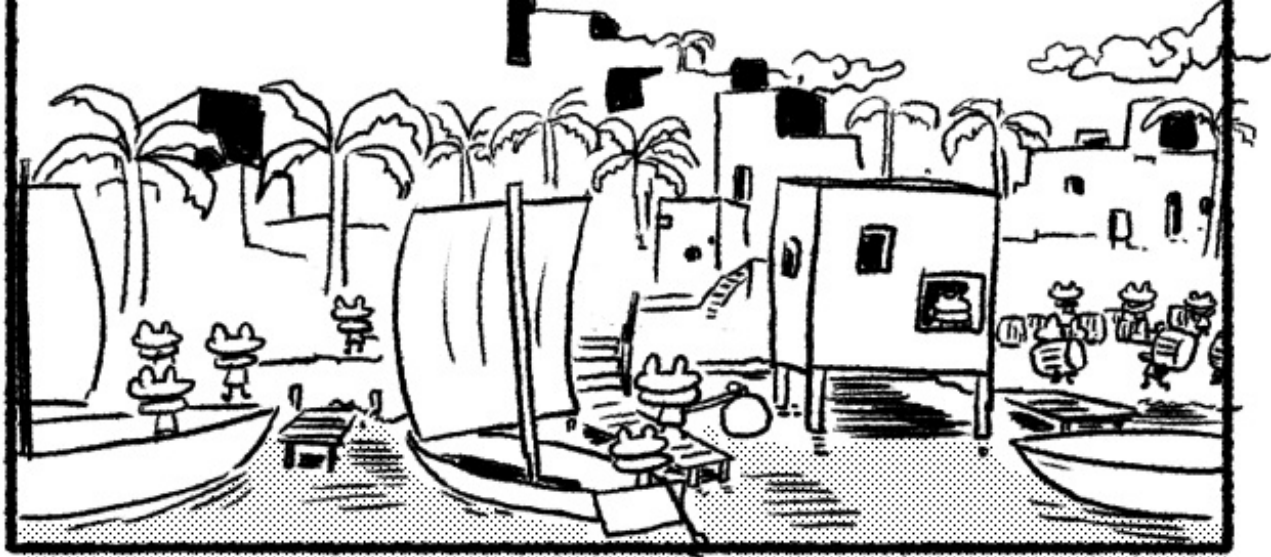
そして
この長い旅が
はじまったのだった。

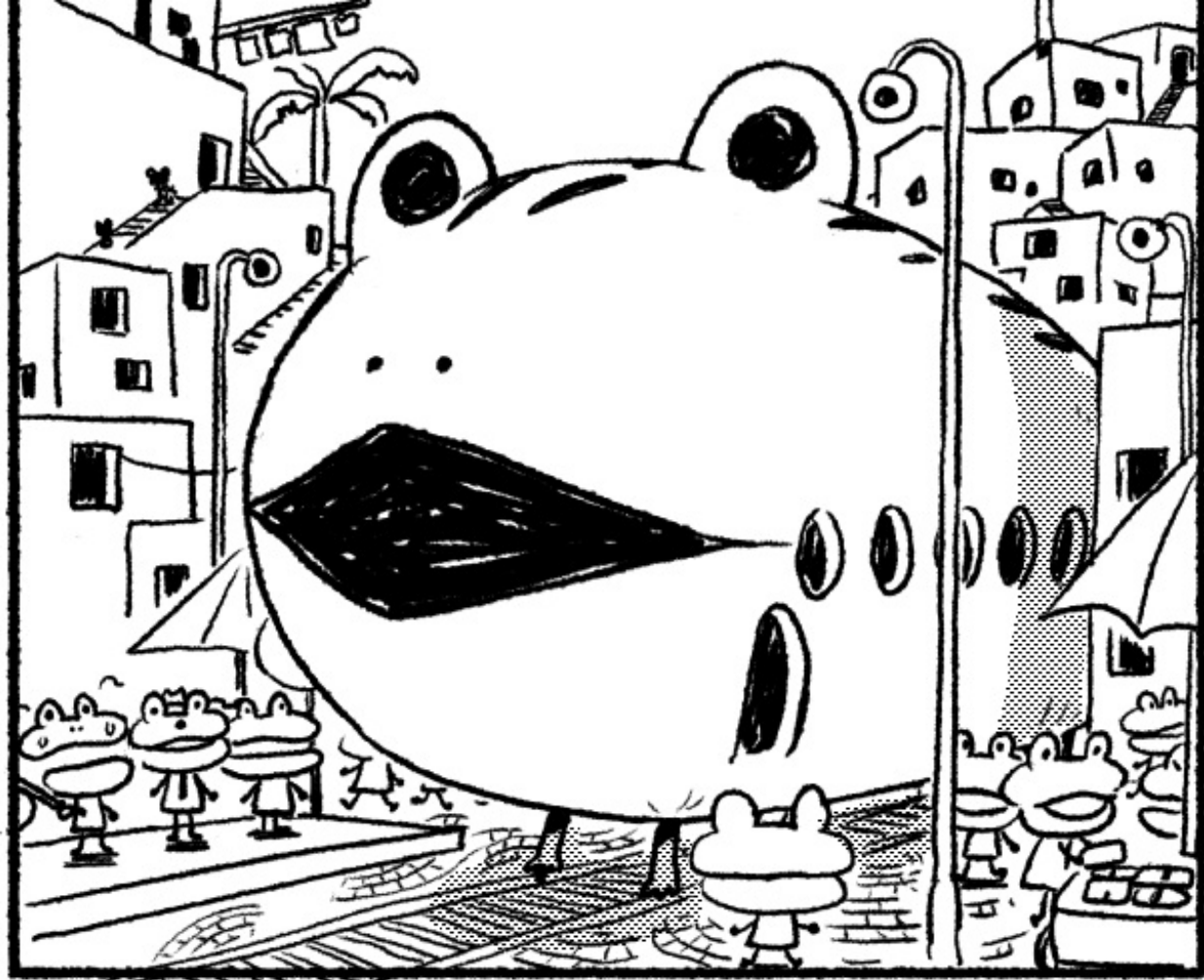


姫の身を憂い
嘆き悲しむ王は
夢の秘密を探るため
西域への旅を
私に命じ

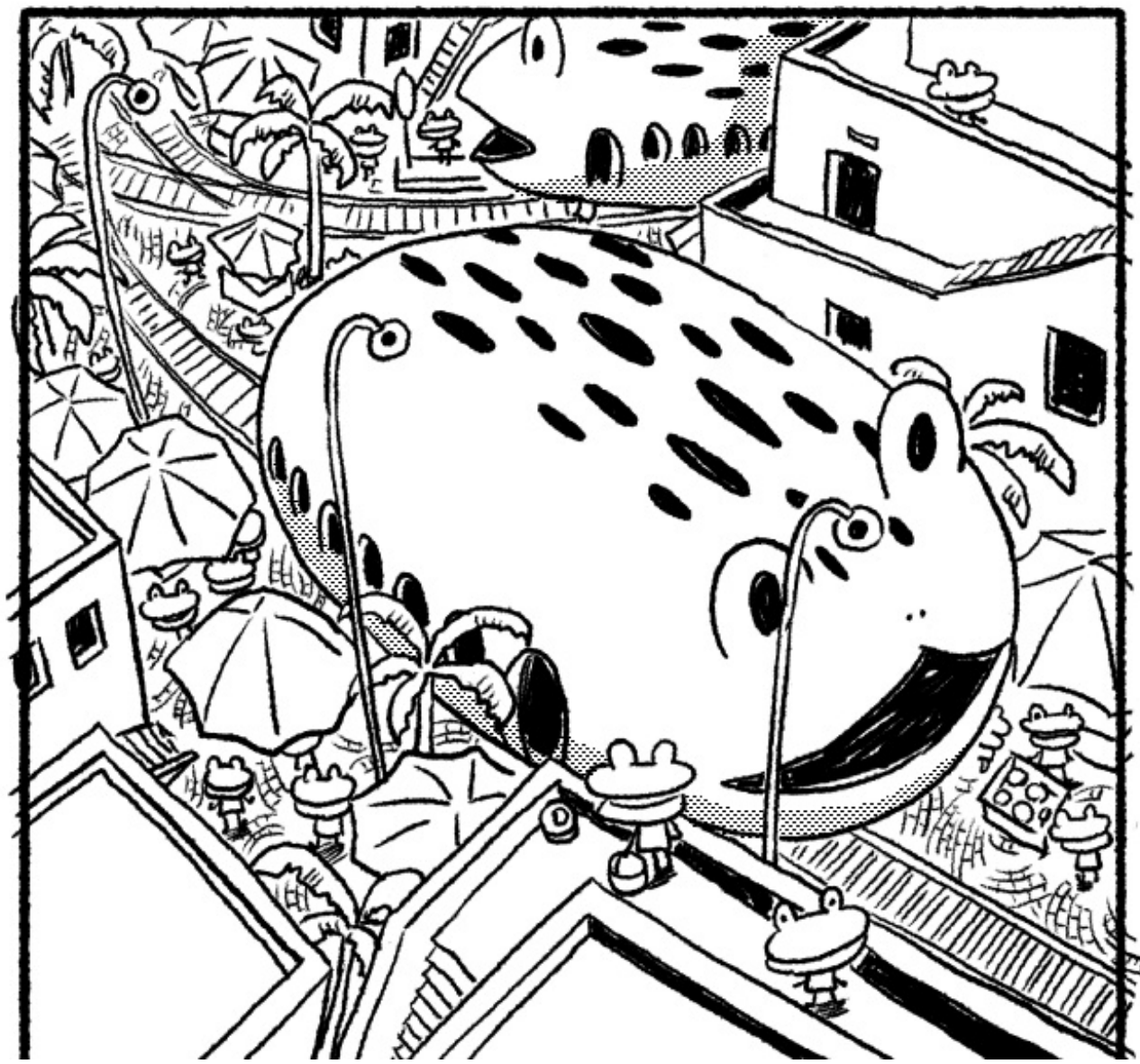
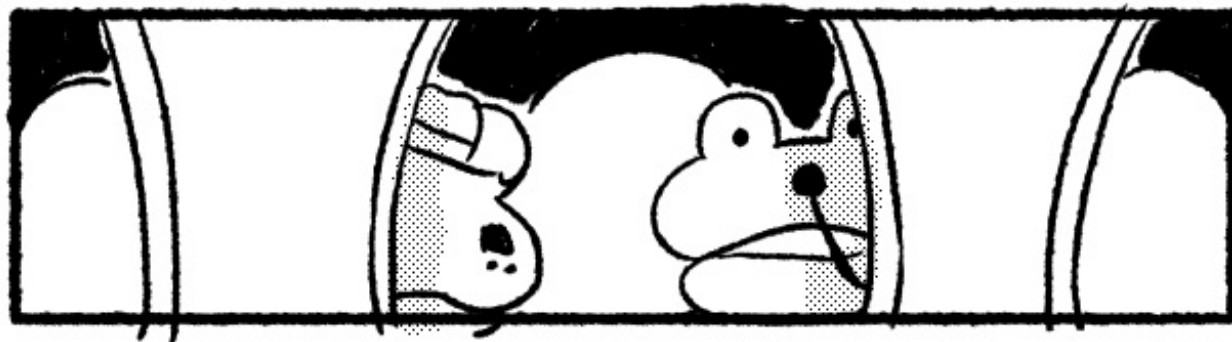
ロックスンゴーム①—ジャマン











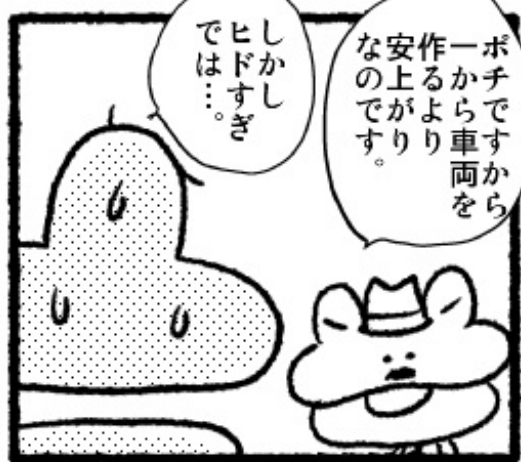


まず体の大きなポチを選び出し



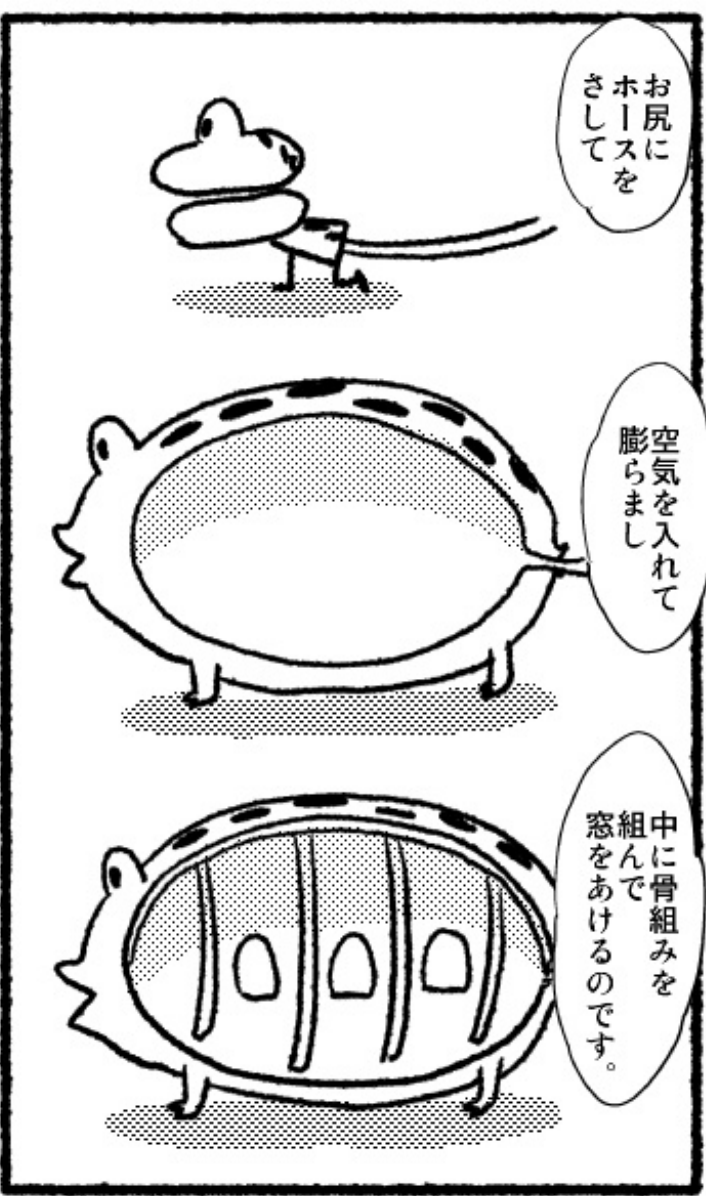
なに簡単ですよ。

それにしてもこれはどんな仕組みでできてるんですか？



しかしヒドすぎでは…

ポチですから一から車両を作るより安上がりなので。



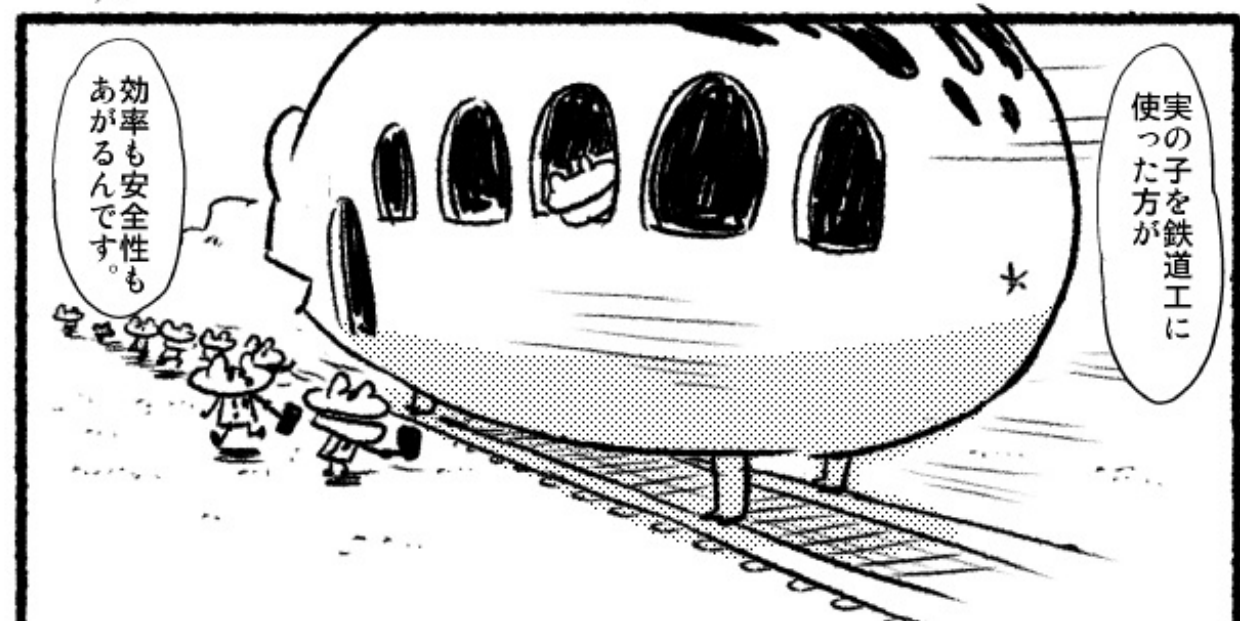
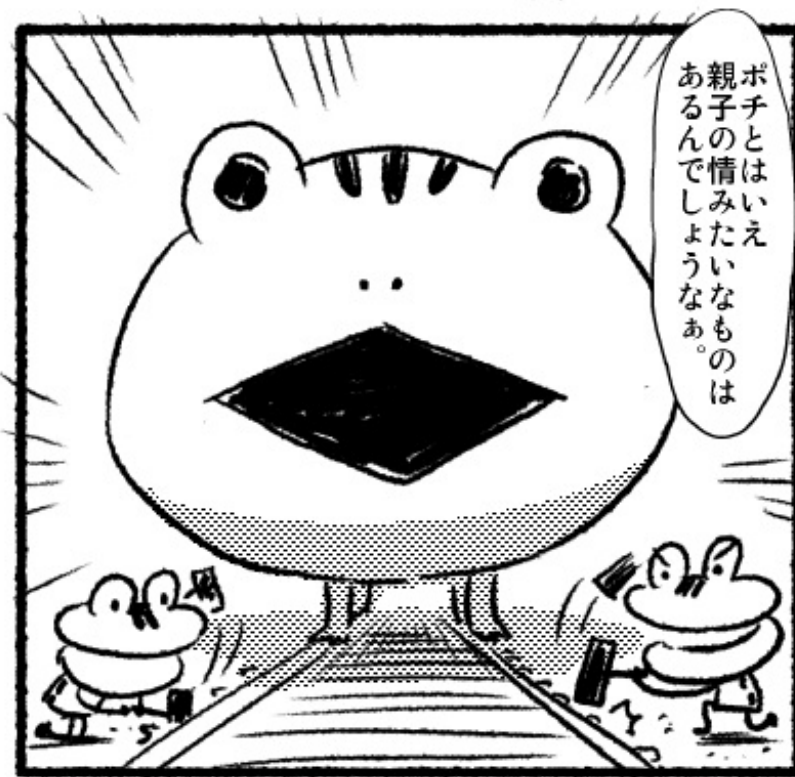
お尻にホースをさして

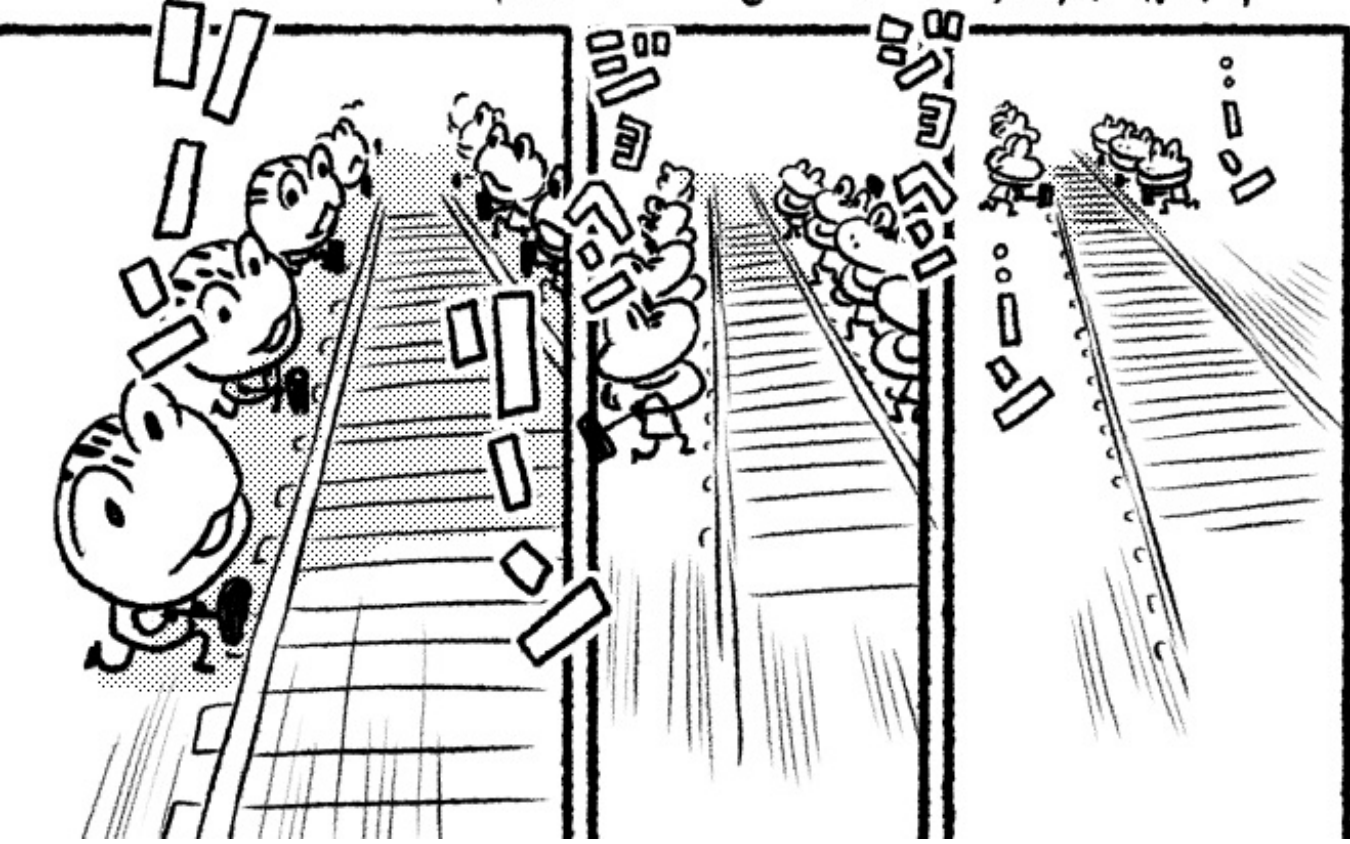
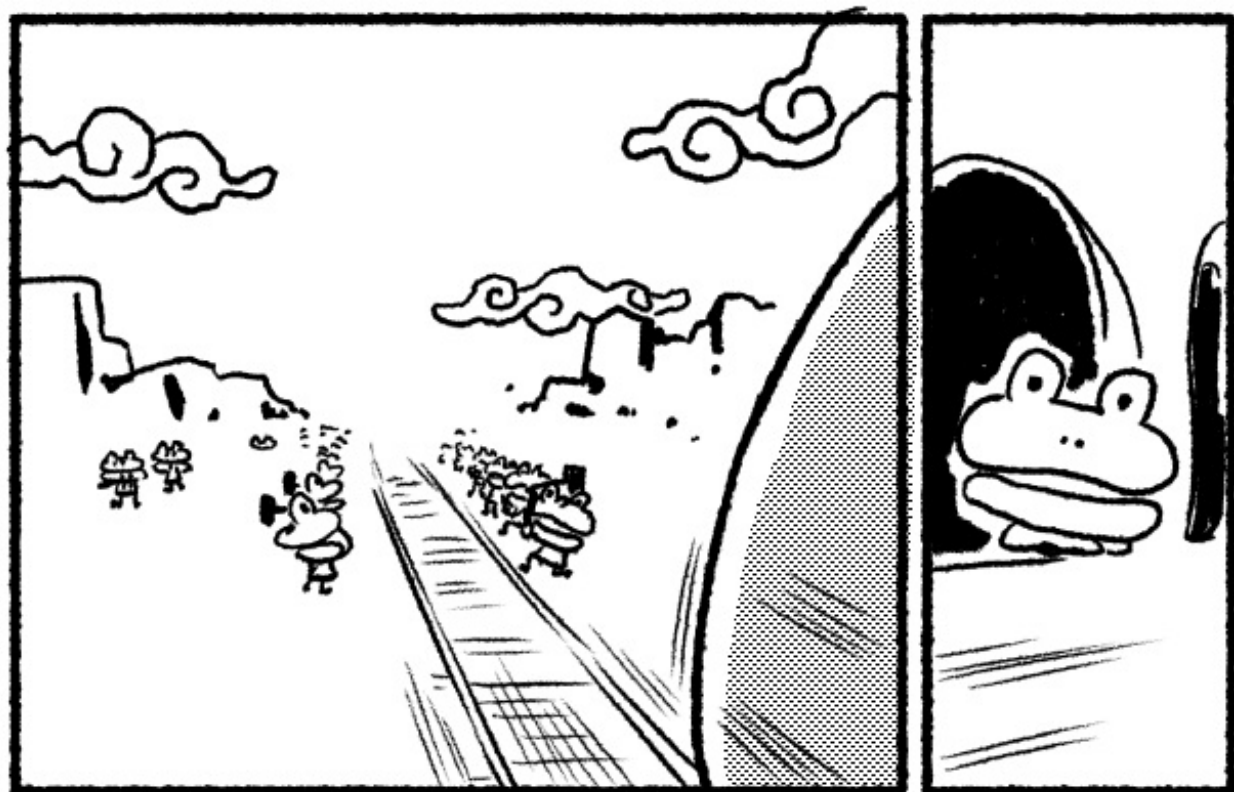
空気を膨らまして

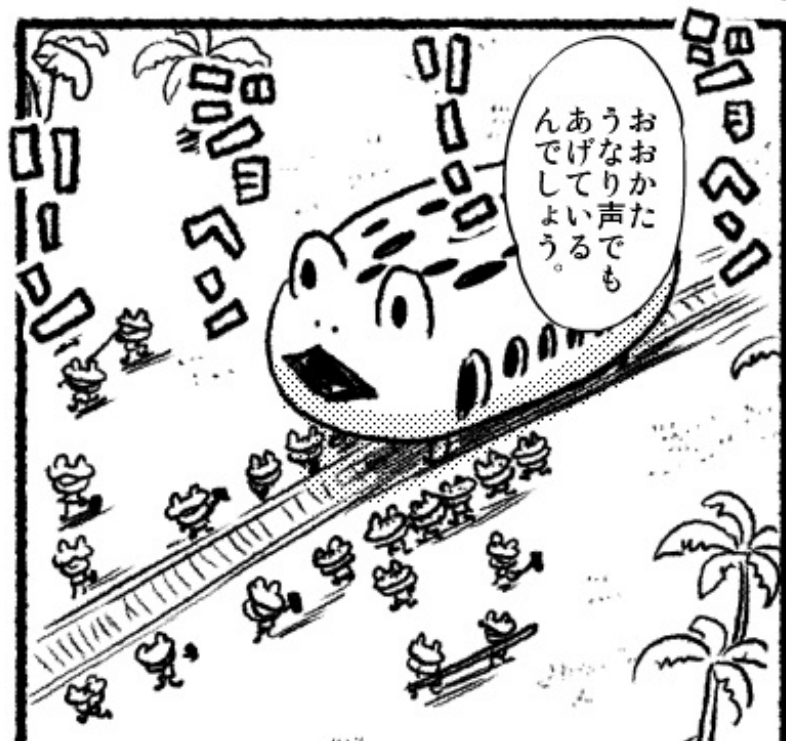
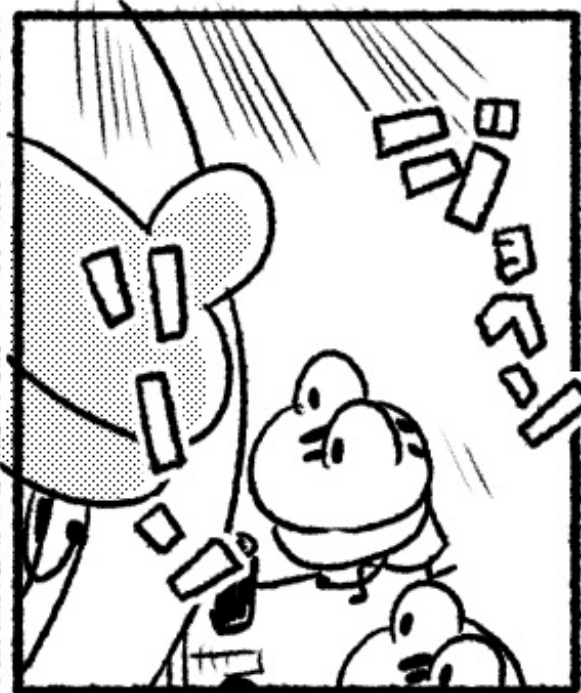
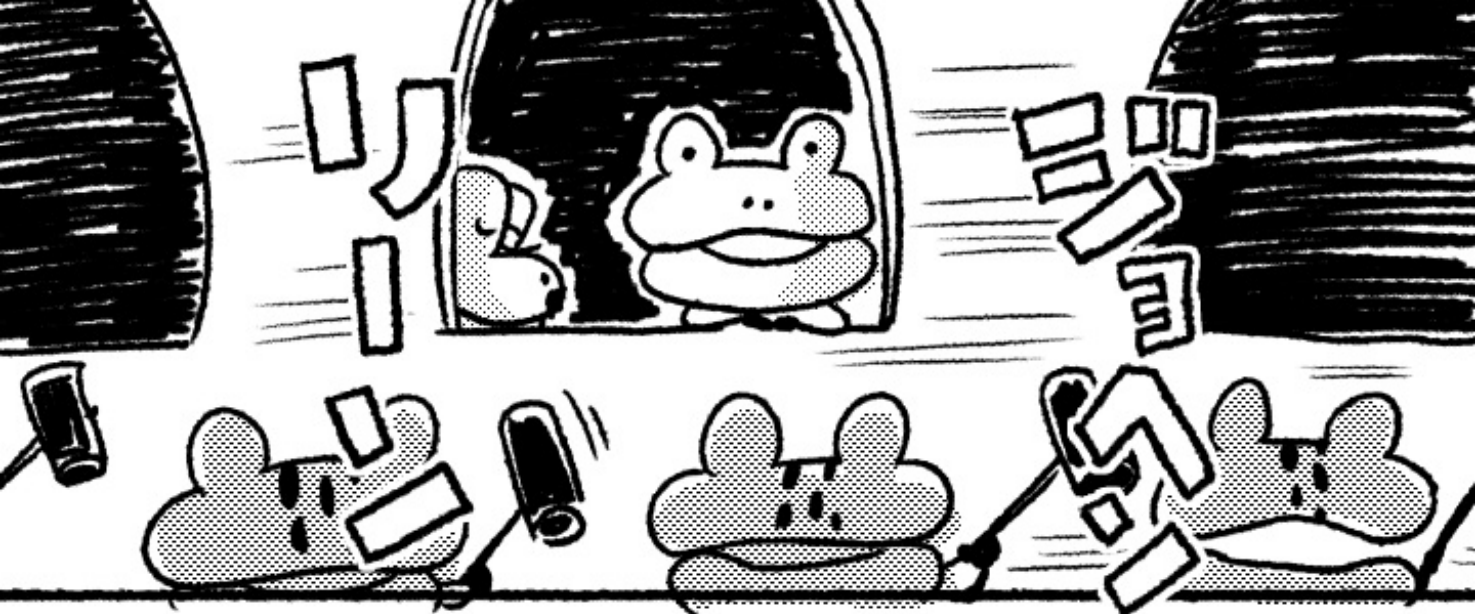
中に骨組みを組み立てて窓をあけるのです。

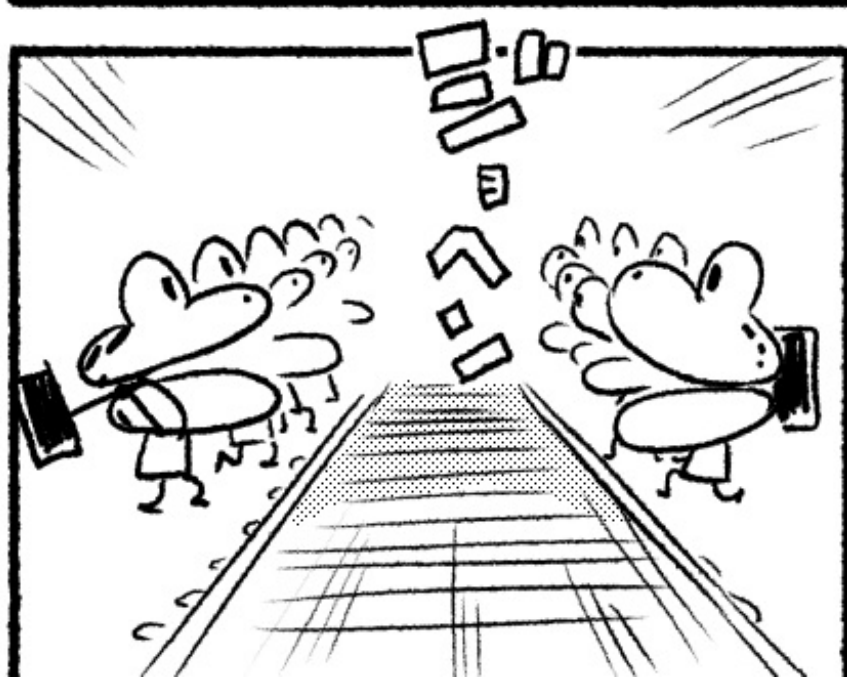
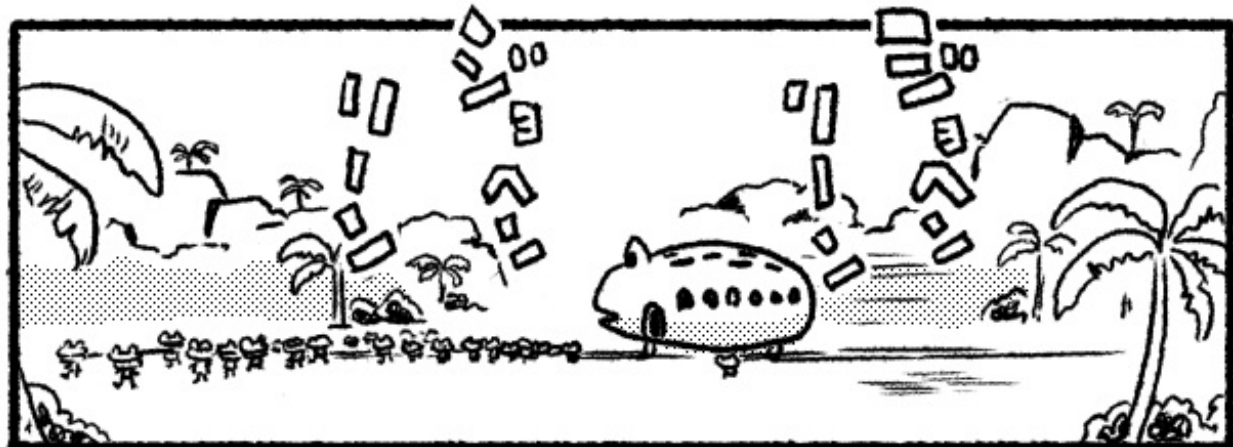


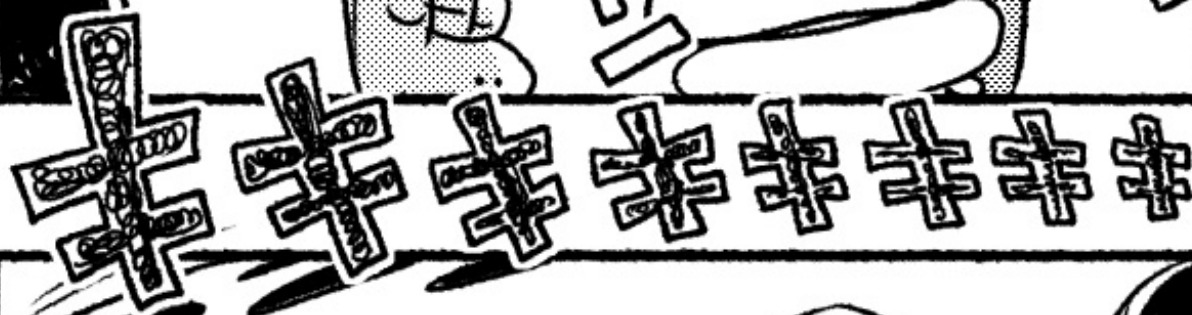
そんなことはありません。むしろポチにとって名譽になるのです。

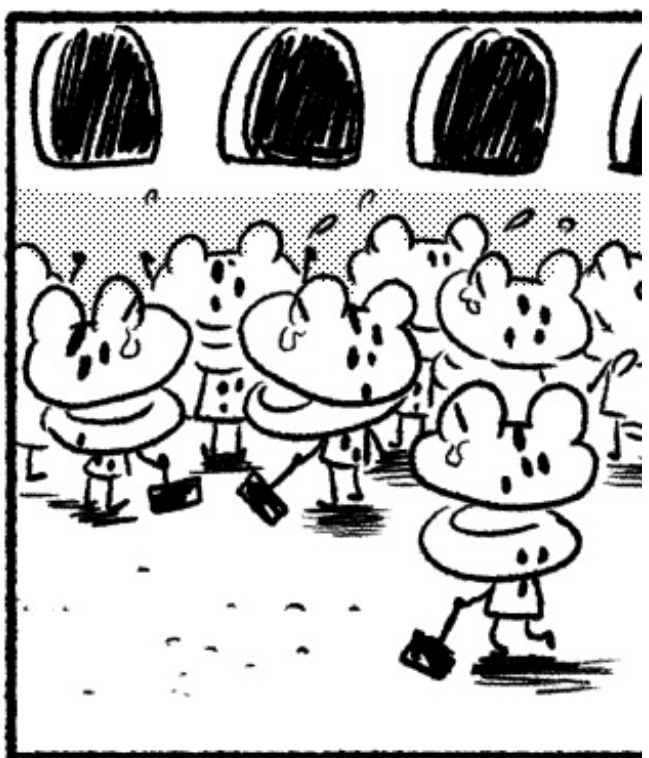
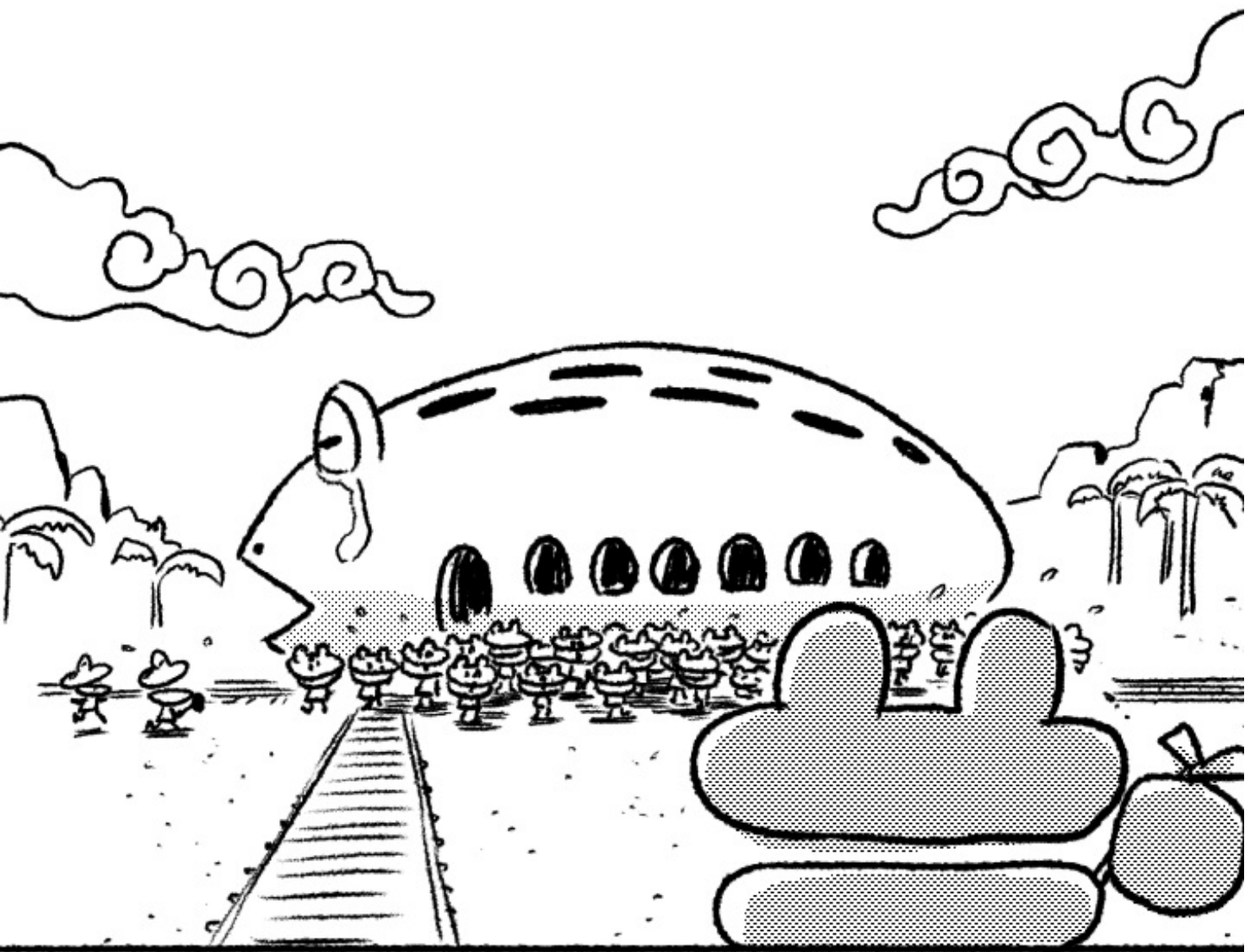


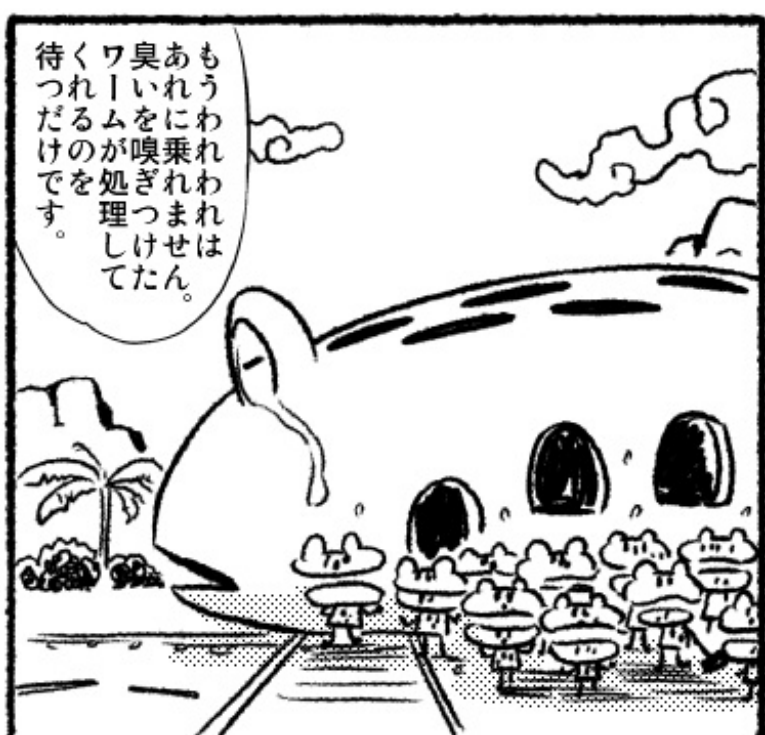
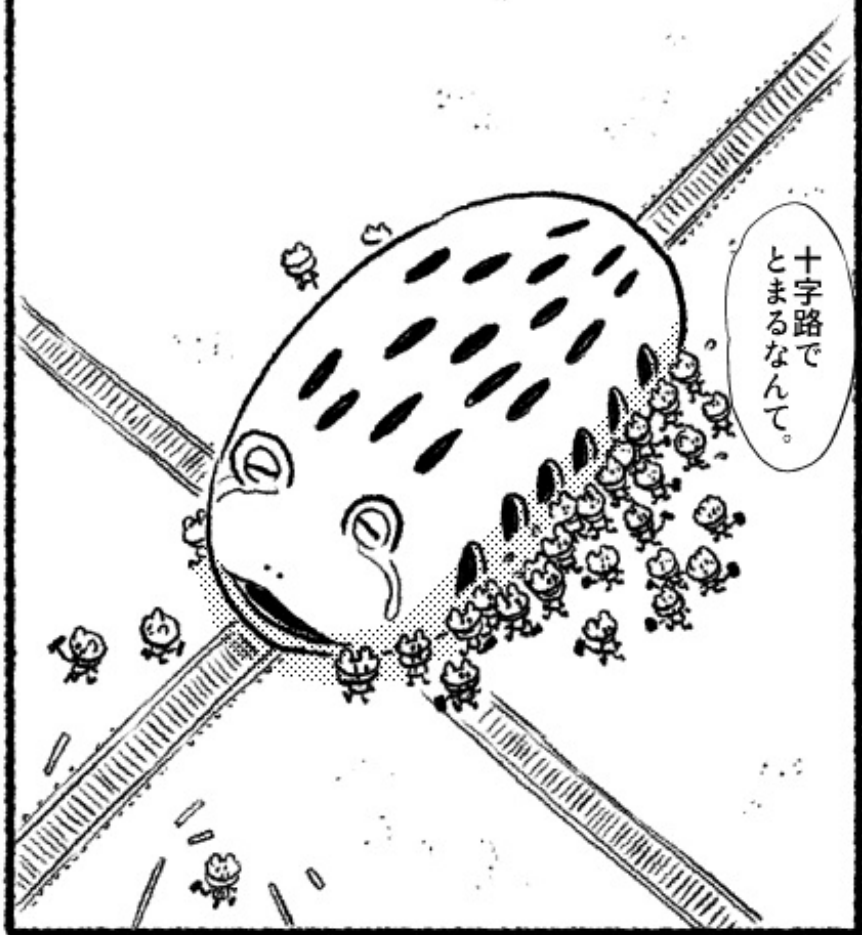


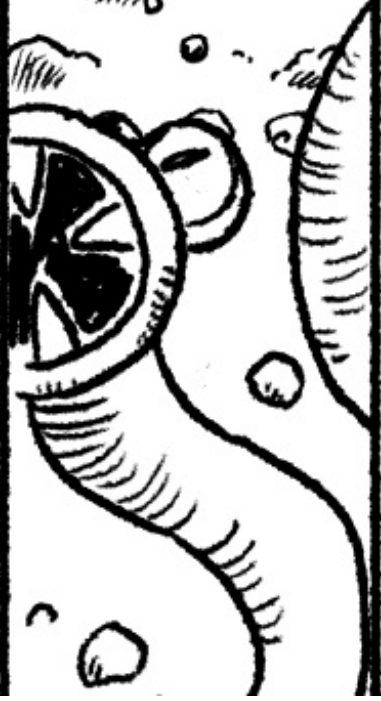
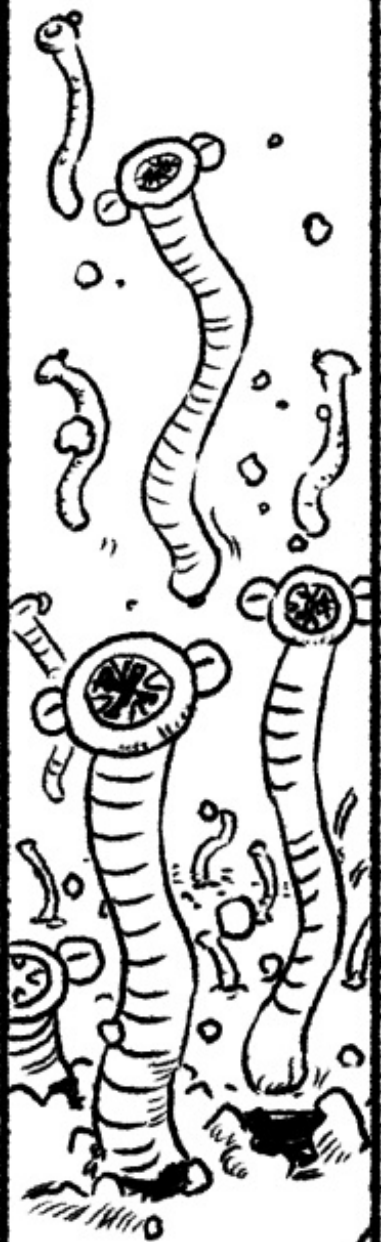
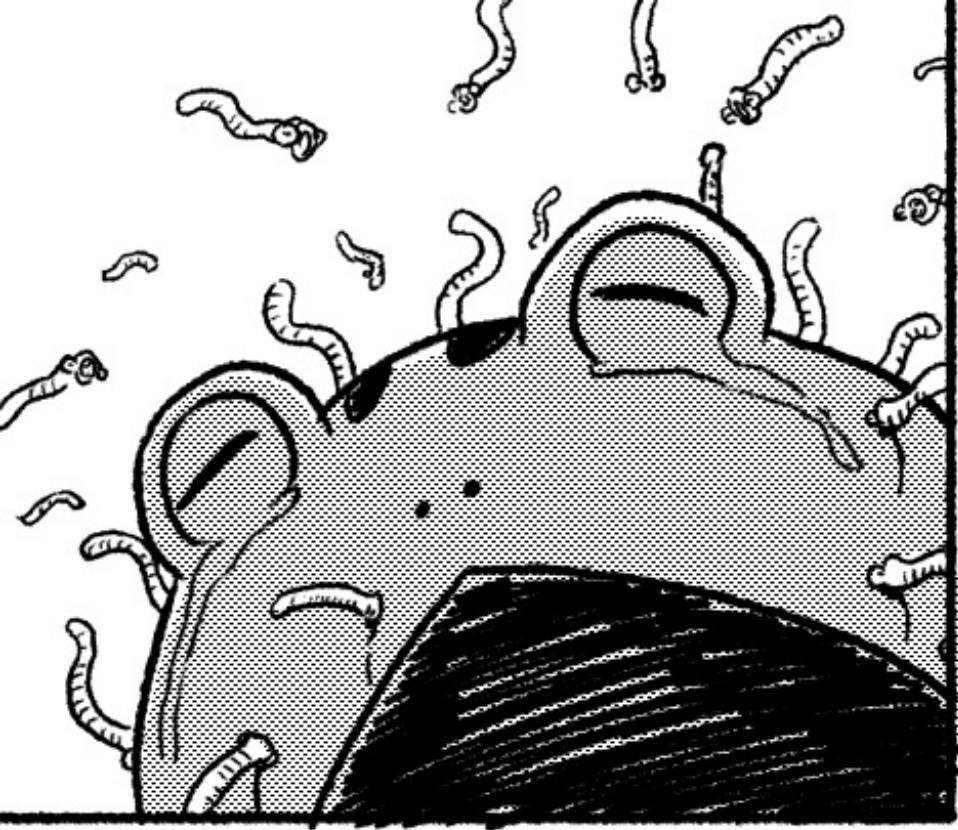


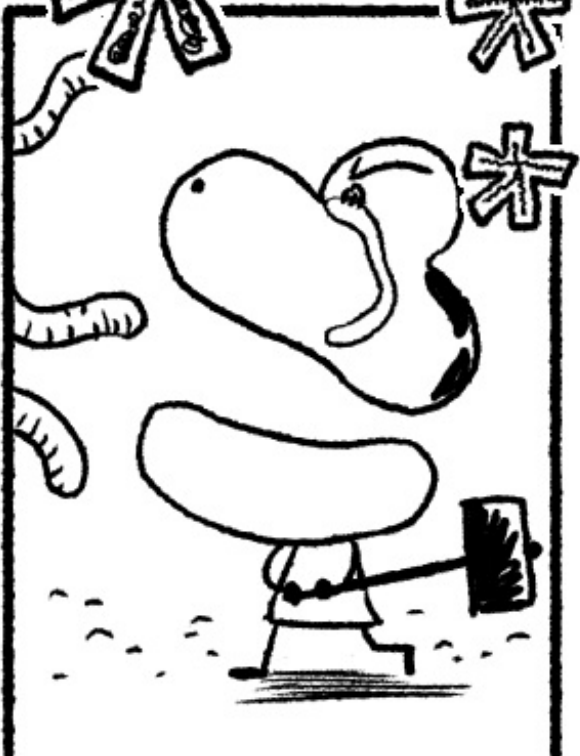












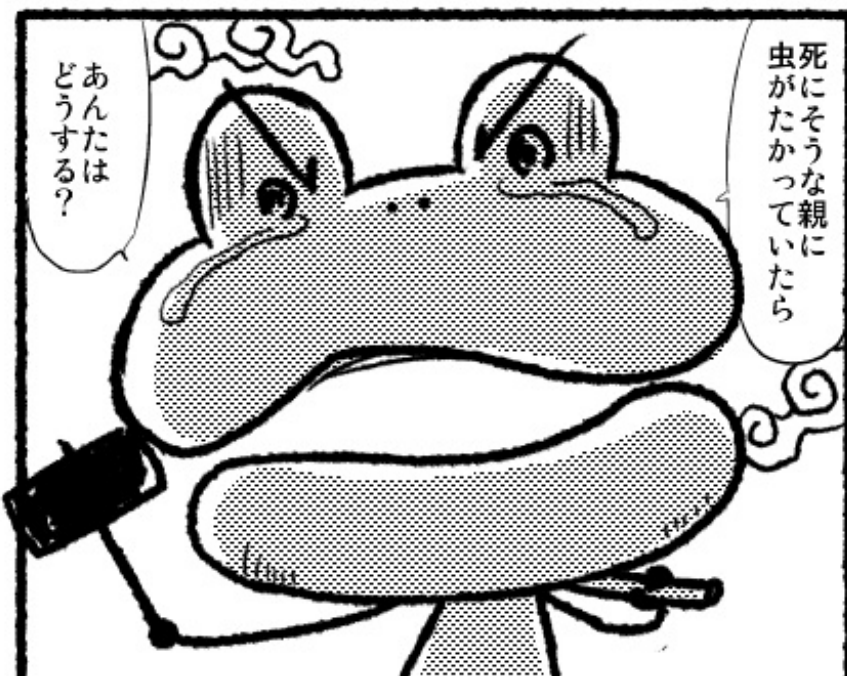




とつとつと
ワームに
あいつを
食い尽くして
もらわないと
オレが
両替所に
間に合わない
だろう!



ポチの分際で
なに勝手にワームを
つぶしてやがる!



あんたは
どうする?

死にそうな親に
虫がたかっていたら



な...何を
するんだ。
旅の人だ。



そんなこと
してたら
両替所に
着けない。
そんな金
を払うの
が惜しい
のか？

金？
はあ？



やっぱり
こうする
よね！
やめる
んだ！
旅の
人。



やっぱり
こうする
でしょ！



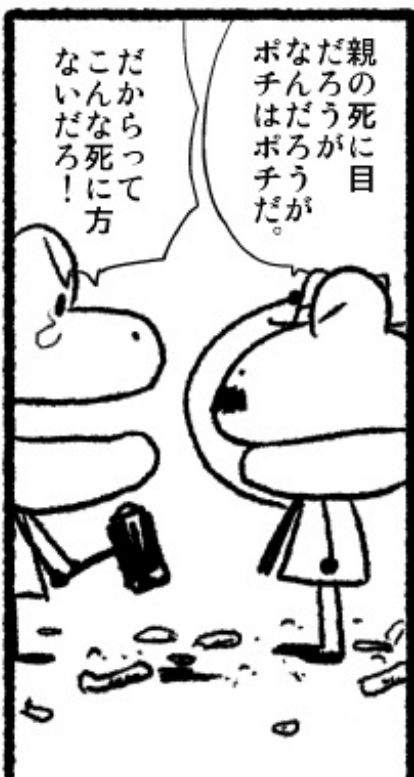
バカかあ
んたは
泣いて
るんだ
よ！！
泣いて
るんだ
よ！！
泣いて
るんだ
よ！！

こんな
親の死
に目
つて
あるか！！



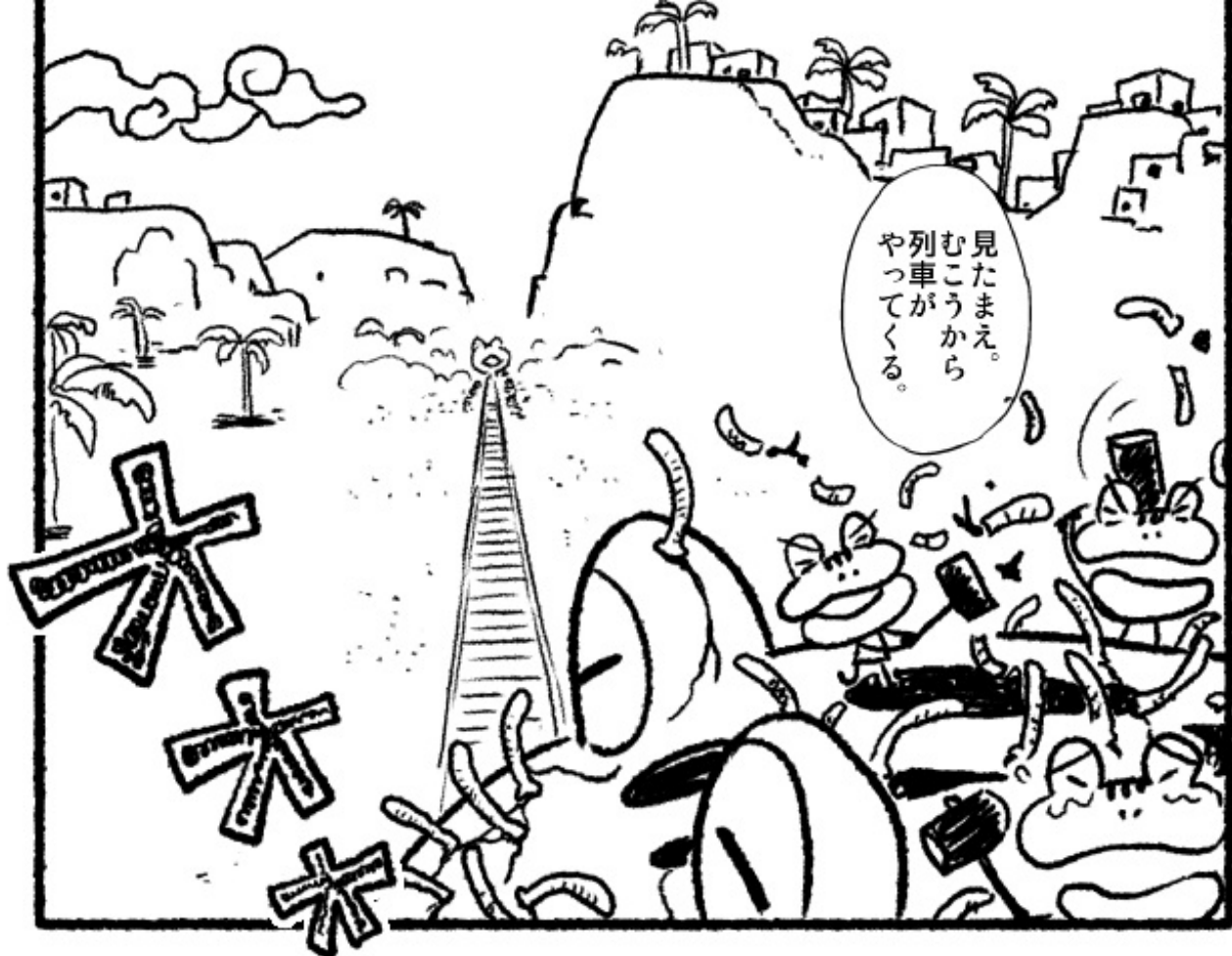
それは
違う。

旅の
人。
あなた
は
正しい
ことを
言っ
てる
と思
う
よ
う
だ
が



親の死
に目
だ
ら
う
が
な
ん
だ
ら
う
が
ポ
チ
は
ポ
チ
だ

だから
って
方
な
ん
だ
ら
う
が
死
に
ま
た
な
ん
だ
ら
う
が



見たまえ。
むこうから
列車がくる。
やっってくる。



金のことはもういい。

あなたが
正しいか
どう思う
その目で
いいでし
うかめ
れば

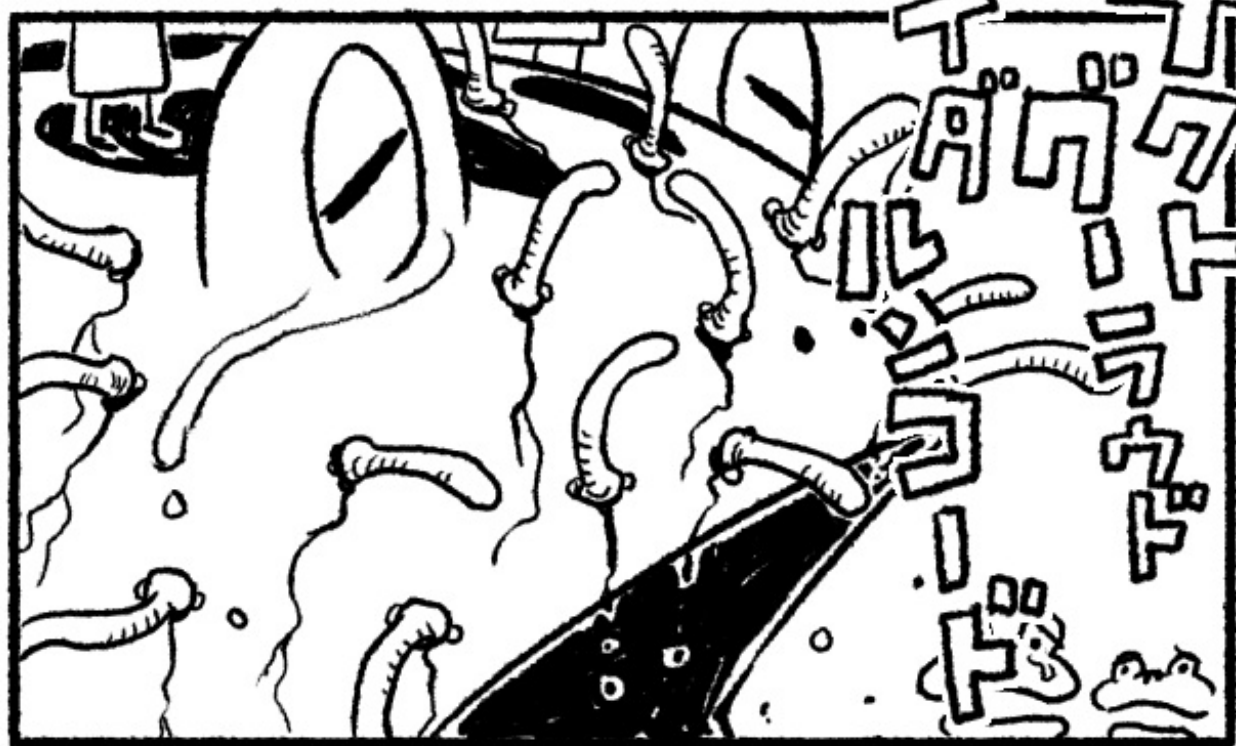


ポチとあなたの
身勝手な振る舞いの
せいで
どれだけの犠牲者が
出るのだろうか。

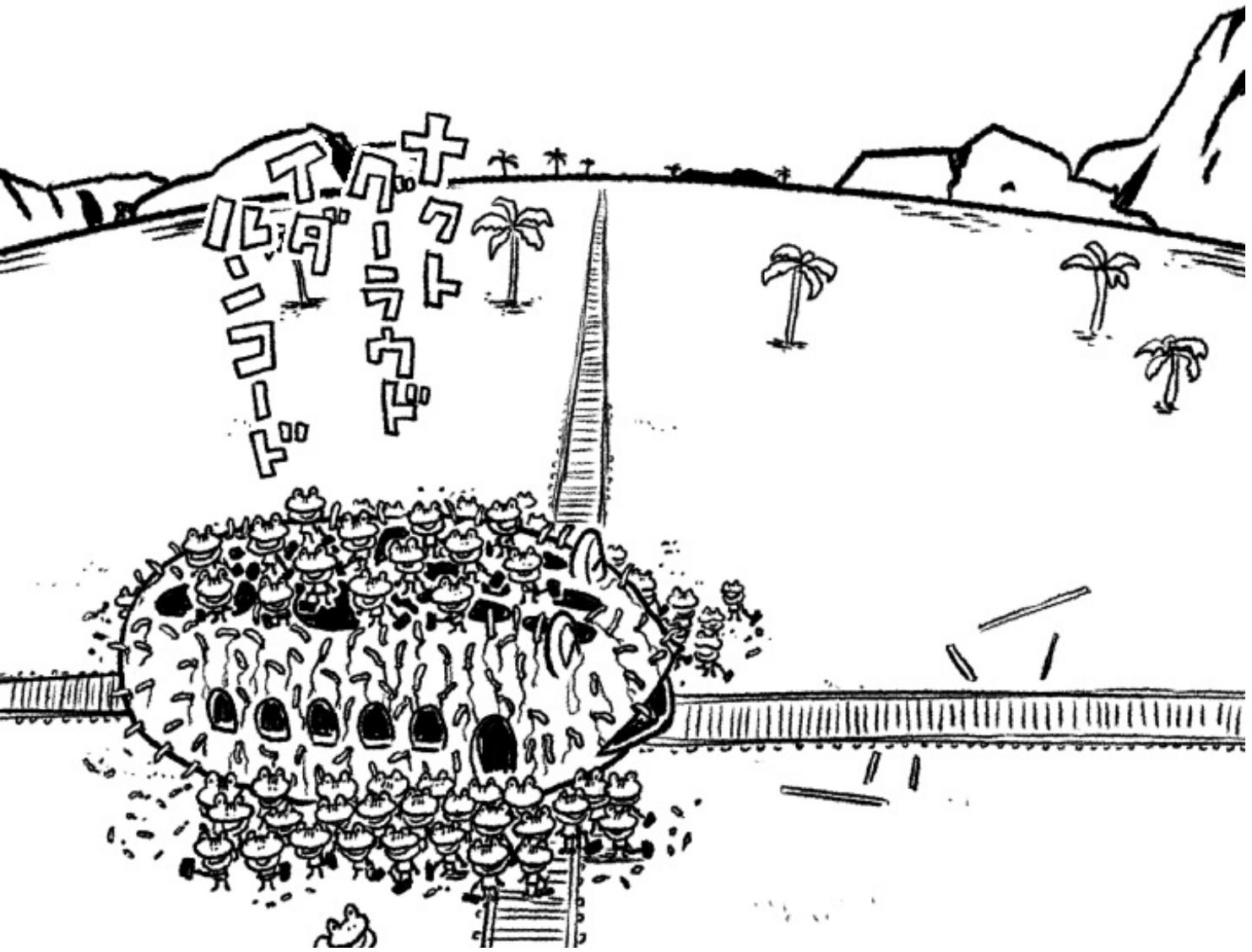
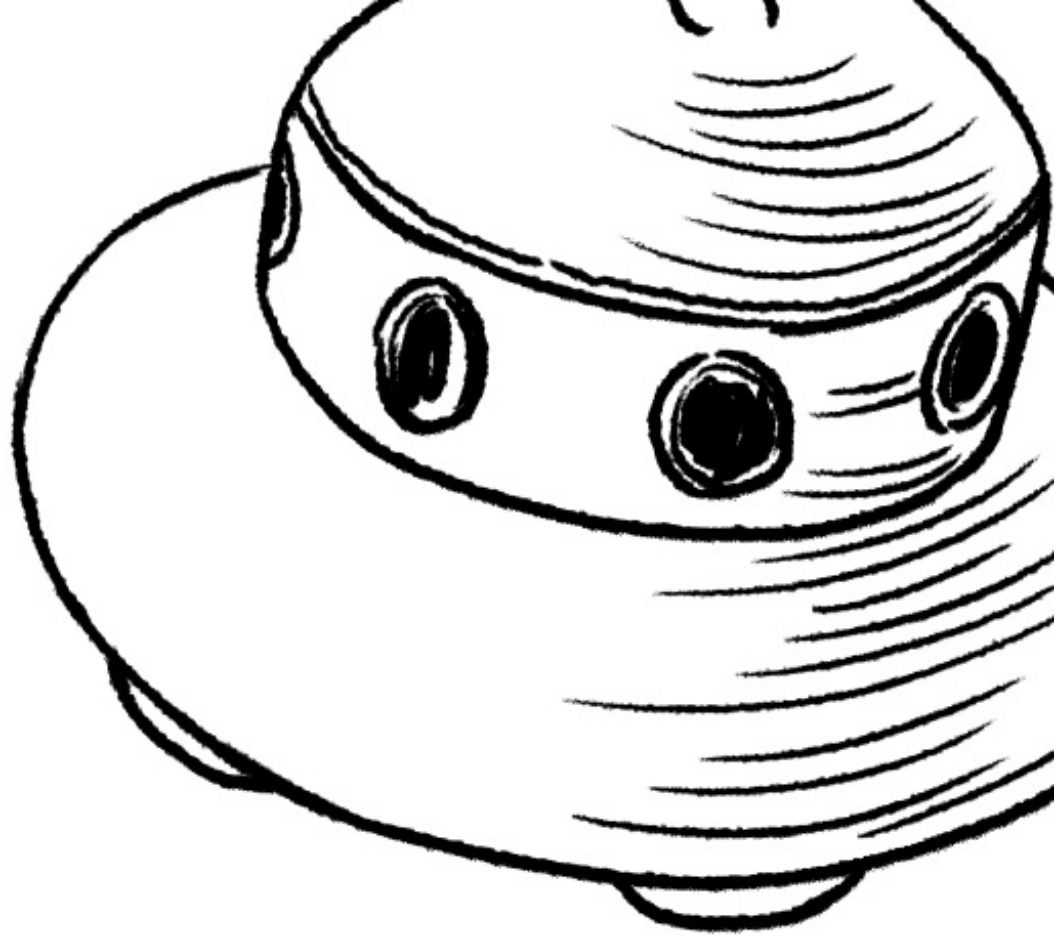


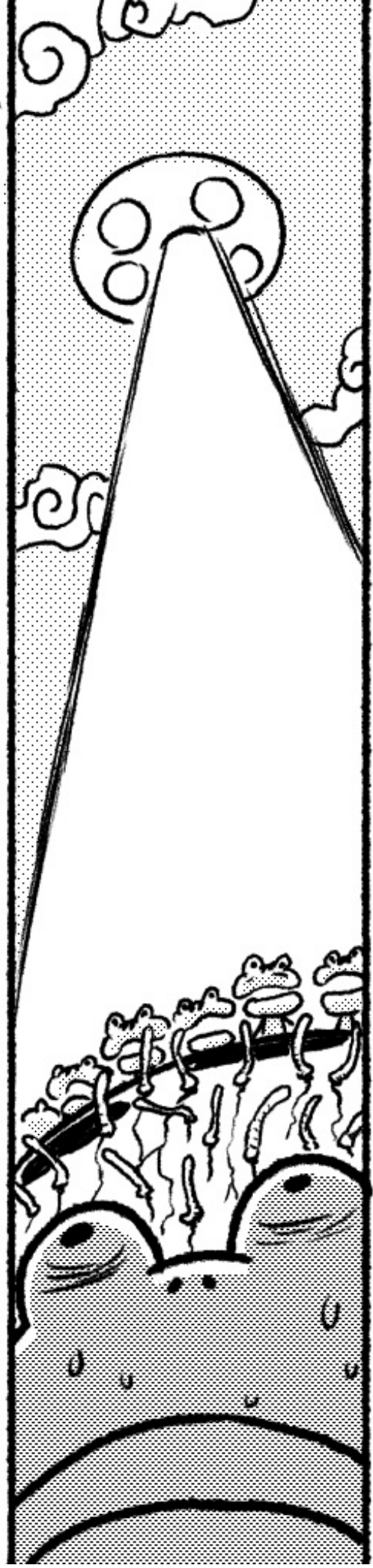
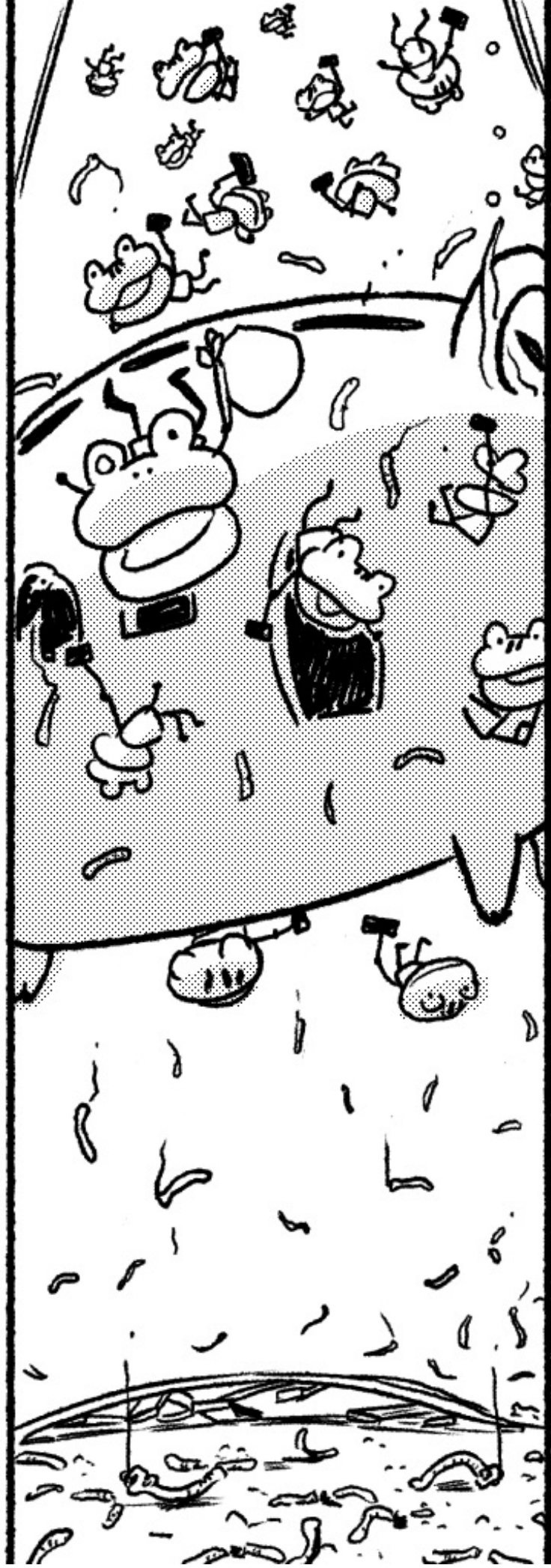
ワイムに
食いかた
なかつた
間もなく
あの列車
衝突する
は

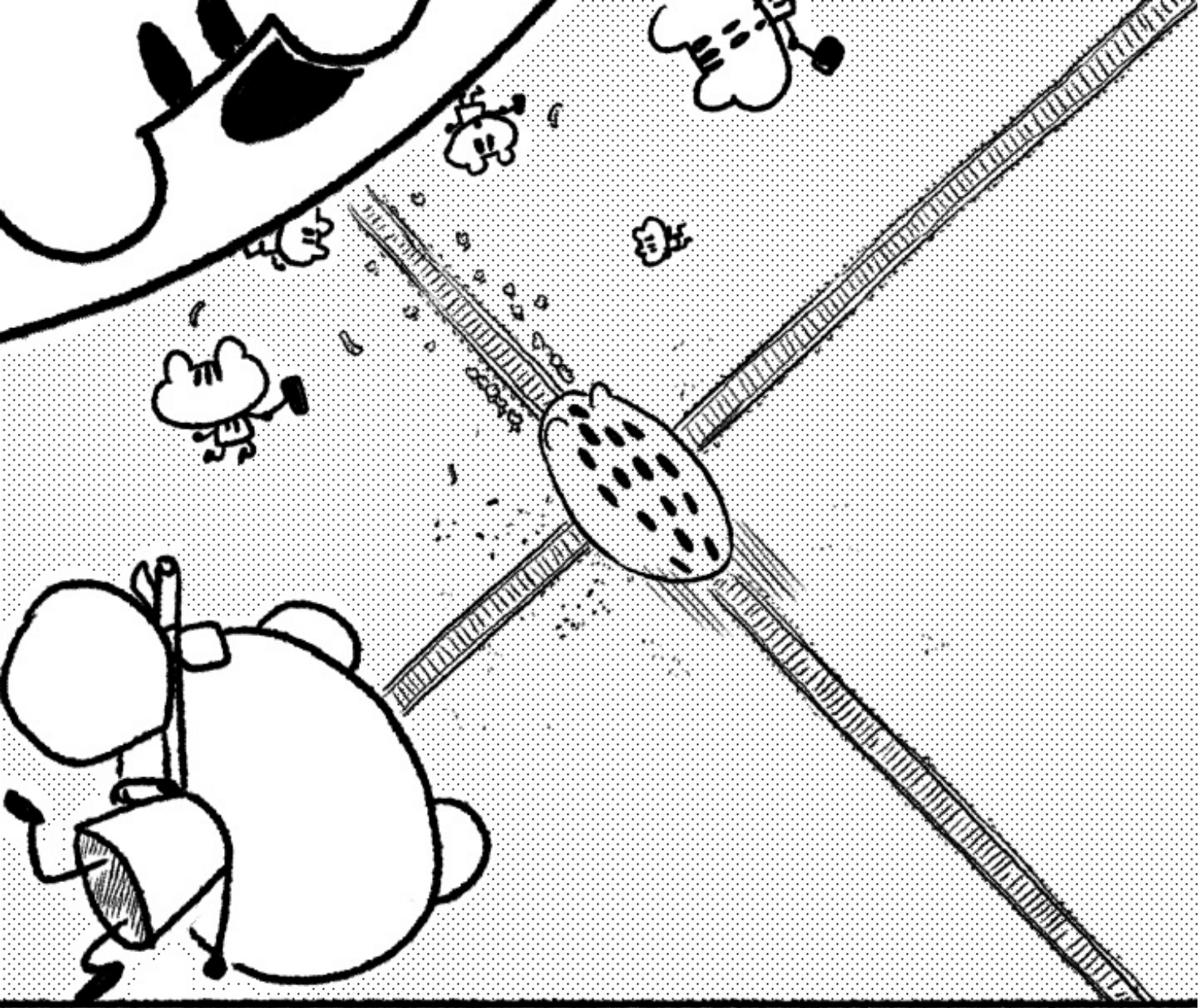














ワタシハカツテ
アノ歌ヲ
宇宙デ聞イタ
コトガ
アルノデス。

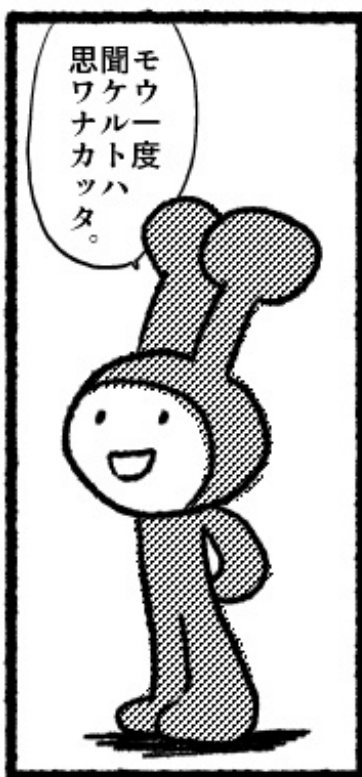


ここなら
ワームも
いないの
で
静かな最
期を
暮かえら
れ
そうです。



この星ノ
歌デシタカ。

ワスレラレヌ
ソノ歌ヲ
耳ニシテ
コニ来マシタ。



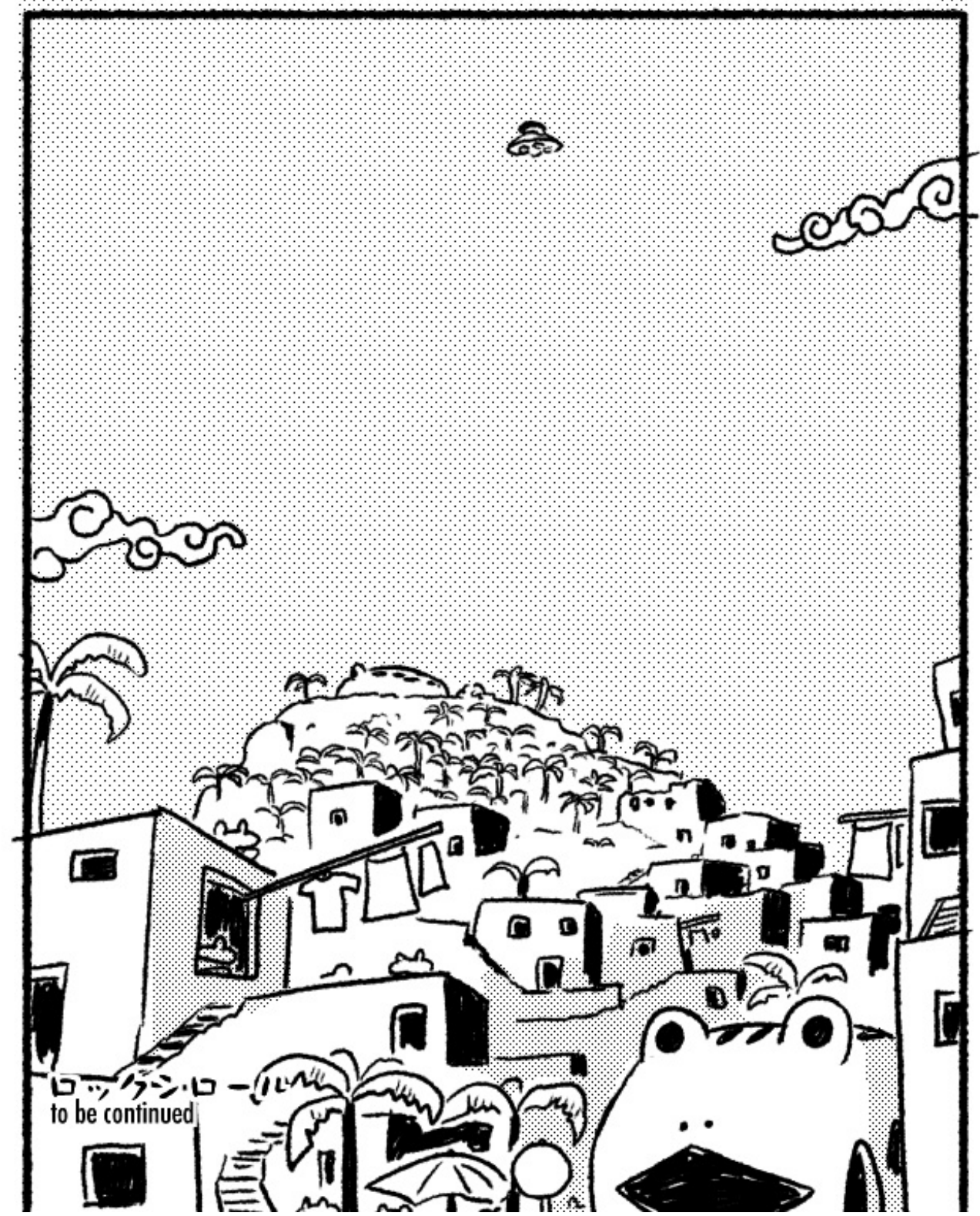
モウ一度
聞ケル
ナカッタ。



スバラシイ歌。
カナシイ歌。



私は
涙が止まらなかつた。



to be continued

ロックンロール 1

<http://p.booklog.jp/book/51771>

著者：青木俊直

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/aoki818/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/51771>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/51771>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ